

「f・wave」とは、

**f**は、female-女性、  
friend-友、  
freedom-自由、  
future-未来、そして  
f-強く、を意味し、

**wave**は、波を表します。  
f・WAVEは、社会環境の変化の  
波を誌面を通して伝え、女性が生  
き生きと暮らせる未来をめざす  
コミュニケーション誌です。

# f・wave



特集1 翔べ！ 20才 男女平等論 突撃インタビュー

特集2 座談会 ITで変わるの!? コミュニケーション

# 特集1

2001年1月8日、あきる野市の成人式が開催されました。

会場は、振り袖・袴・スーツそして民族衣装風と、華やかな雰囲気になっていました。そんな今時の20才、男女平等についてどんな考えを持っているのでしょうか？そこでf・wave取材班、前日から降り積もった雪にもめげず、式が終わり、同窓会のように賑やかに盛り上がるロビーで、突撃インタビュー開始。さて、新成人たちのfinal Answerは？



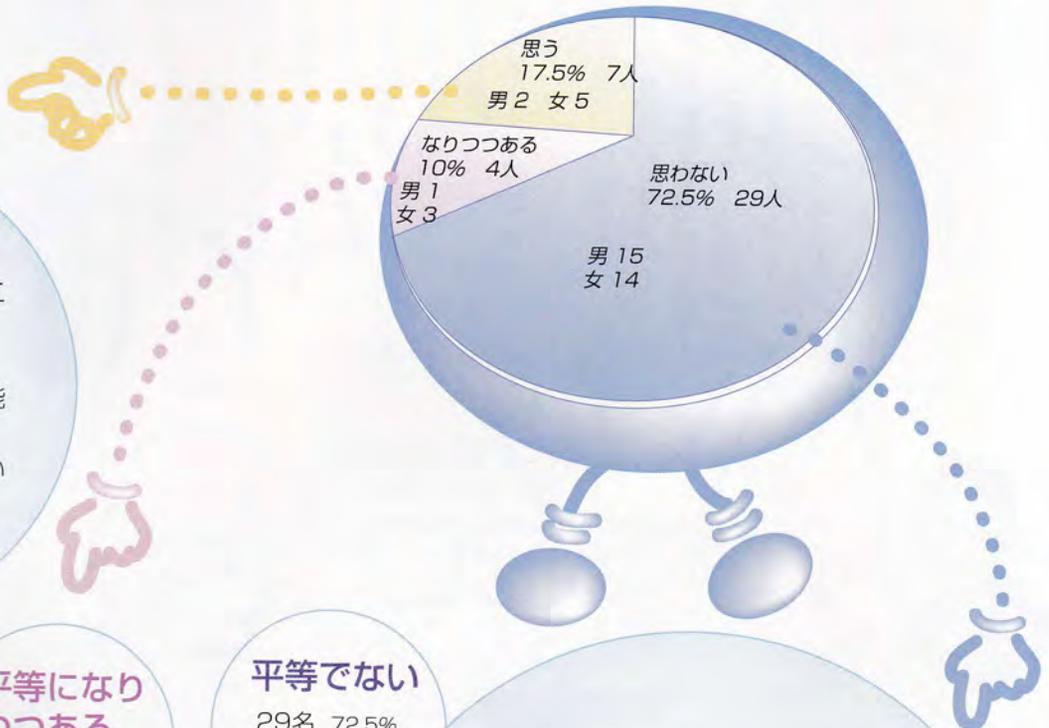
## Q1

男女平等の社会だと思いますか

### 平等である

7名 17.5%  
男2名 女5名

- ・共働きの家庭が多い
- ・女性も社会進出している
- ・学生だし、差別を感じたことはない
- ・人間は皆一緒
- ・女性だって、男性にない能力を生かせると思う
- ・家事育児を一緒にやっているのは当たり前
- ・実力の世界の仕事では平等



### 平等になりつつある

4名 10%  
男1名 女3名

- ・精神面では男女ともかなり対等になってきている
- ・男性の栄養士、女性の車掌など、いろいろな方面で平等の方向に進んでいる
- ・男性のお化粧やエステ通いも、そんなに変な目で見られなくなってきている
- ・女性の党首や市長なども増えてきている

### 平等でない

29名 72.5%  
男15名 女14名

- ・就職率が男性の方がよい
- ・労働条件は同じなのに、給料に差がある
- ・男性優位の社会システムは、なかなか変わらない
- ・体力差など、男女に違いがあるのは当然
- ・もともと男と女は平等に見られていない
- ・機会均等法とか何とかいわれているけど、まだ心理的・内面的には平等になっていない
- ・女性だからダメ！とか、力がないとか、まだ偏見がある
- ・レディースデーやサービスなんか考えると女性の方がいい
- ・女性の方が何もしないで生きていけるので得
- ・男性の方が不利なこともある

回答者 男18名 (社会人3)  
女22名 (社会人5)

# と 翔べ! 20才

## 男女平等論

### 突撃インタビュー



#### 新成人 生まれたのは、こんな時代

- 1980
- ・国際婦人世界会議にて、日本、女子差別撤廃条約に署名
  - ・ヒット曲 「青い珊瑚礁」 (松田聖子 デビュー)
  - ・ベストセラー 「蒼い時」 山口百恵 (この年引退) 「COSMOPOLITAN」 「とらばーゆ」 など
  - ・女性就職情報誌、創刊
  - ・流行語 それなりに
  - ・流行した物 ルービックキューブ
- 1981
- ・日弁連、高校家庭科の女子のみ必修は違憲、男女共修を提言
  - ・ヒット曲 「ルビーの指環」
  - ・ベストセラー 「なんとなくクリスタル」 田中康夫
  - ・流行語 ブリッ子
  - ・流行した物 カップ入り味噌汁

「都民女性の戦後50年一年表」ドメス出版より

#### 成人式会場にて

### Q2

#### 理想の女性

- ・やさしい (他3)
- ・おとなしい
- ・家庭的
- ・思いやりがある
- ・ついてきてくれるタイプ
- ・楽しく話せる
- ・自分の意見をもっている

#### 理想の男性

- ・やさしい (他5)
- ・お金の心配をしなくていい人 (他2)
- ・まじめ
- ・誠実な人
- ・理解がある
- ・言い訳しない
- ・自分の意志をもち、夢を追っている人
- ・面白いけど、しっかりしている
- ・男らしい
- ・俺についてこいというタイプ

### Q3

#### 理想の恋愛関係

- ・何でも言える対等な関係 (他10)
- ・自分のやりたいことをお互いに尊重し、応援できる
- ・お互いに生き方を尊重し合える
- ・違う意見を言い合えて成長し合える
- ・互いを束縛しないで、男女がそれぞれの場面でリードし合える
- ・自分のペースで付き合える
- ・一緒にいて心が休まる
- ・相手に求めてばかりはダメ
- ・頼り頼られ、持ちつ持たれつ
- ・男性に頼りきりたくない



#### ◆インタビューを終えて

今日から大人の仲間入りをしたピッカピカの新成人。インタビューでは「今の社会は男女平等ではない」という答えが圧倒的に多かった。

しかし、「女性の党首、市長、知事なども出てきている」「トラックやタクシーの運転手、車掌など男性の分野といわれる職業に女性が進出している」など、時代の流れを敏感にキャッチしている声もありました。

学生が多いこともあって、まだ不平等を実体験として感じている人は少ないようでした。

「おとなしい、家庭的な女性」とか「お金持ちの男性」を理想とする人もいたが、男女共に「恋人とはお互いに対等な関係でいたい」と言う声が多かった。最後に、f・wave 突撃インタビューに快く答えていただいた新成人の皆さん、ありがとうございました。

「ITで変わるの!?  
コミュニケーション」

IT(情報通信技術)によって、私たちの暮らしの中のコミュニケーションは、どう変わってきているのか、そして今後どう活用していったらいいのか。当編集委員会では、地域で活動されているお二人の男性を迎えて、座談会を行いました。



桜木 雪 委員

**沢田** 私は、子どもが小さい頃は家族新聞や交換ノート、手紙などで心の交流を図っていました。でも最近では、携帯やインターネットが頼もしい手段になっています。インターネット歴は10年です。

**丸山** うちでは、夫と息子ともに男は黙って…ってタイプなので、夫婦、親子の会話が、フロ、メシ、ネルですよ。これもコミュニケーションでしょうか？(笑) 友人などは手紙派ですね。でも、今年こそは、まず息子とのメール交換から挑戦してみたいですね。

**桜木** 私は仕事柄メールをよく使いますが、親しい友人などは直接会って話をします。知り合いで、夫婦喧嘩した時には、たとえ2階にいてもメールで「ごはんよ!」とやってくる人もいますね。



三重野由美子 委員

**三重野** 子どもがまだ小さいので、遊びを通して親子のスキンシップを図っています。ITは、まだいいイメージがないので、やっぱり直接会って話したりする方ですね。でも、友人からの年賀状をみても、メールアドレスが増えてきたなあと感じてます。

**栗原** 今、仕事でパソコンを使っているので、家に帰ったら使いたくないですね。それに、携帯電話で情報やメールができる時代じゃないですか。ただ、メールって相手の取り方が自由なので怖いところもありますよね。それで傷ついたり、感情が増幅してしまうこともあるかも。やっぱり、直接会って語り合う、酒を飲むなどのコミュニケーションを大切にしているほうですね。

**中村** 僕も現役時代は仕事でパソコンを使っていました。今は、文章や表作成、百科事典などで使



栗原一夫さん

うくらいです。インターネットも、たまに官公庁の情報にアクセスするくらいで、あまりやってません。退職してからは、寿大学などに行ったり、ライフフォーラムの実行委員をしたりと、家でパソコンに向かうより、地域と直接関わっていることの方が楽しいですね。

娘はスペインに居る友人とメールのやりとりをしていて、電話より便利で安く、使い勝手がいいと言っています。携帯電話でも頻繁にメールをしていますね。そもそも僕は、携帯電話の文字は小さ過ぎで、よく見えないですよ(笑)。

**栗原** 私は、映画祭の実行委員をしています。以前に俳優のANさんから自筆の手紙をいただいたんです。どちらかというとそれまであまり好きな俳優ではなかったけど、そのことがきっかけで、いっぺんにファンになってしまった(笑)。また、今はビデオで見

られないんですが、「ハル」というEメールによる恋愛を描いた映画では、メールもいいなくなってるんじゃないかな。



沢田美佐子 香川

**沢田** 今、ネットを基盤に新しい生活スタイルがはじまっていますよね。時間・空間を超えて、共通の関心を持つ人とつながって、日常生活を豊かにできると感じています。21世紀は、みんなちがってみんないい、優しく支え合う、共生時代であってほしいですね。私は、そういう意味でもITがたった一人から意識を変え、行動を変え、変革のつながりができる可能性があるのではないかと感じてます。

**栗原** 私もそう思います。ITは過疎地域の人や高齢者、障害をもった方・女性や子どもなどにとっても、有効に使えるという利点がありますよね。だから、もっと簡単で、安くなっていってほしいです

ね。

**三重野** 最近、少年犯罪や子どもへの虐待、\*DVなど、家族が息苦しい状況がテレビや新聞紙上から見られますけど、大きなよりどころとしての家族が揺らいでいるように思えますけど…。

**沢田** 企業・学校・家庭、社会全体の危なさ、情緒不安を起こさせてはいるのかも。核家族三世代目に入り、親機能が果たせない世代が増え、相変わらず母親一人が子育てし、負担が大きい問題もありますよね。そう、母子密着育児が限界に達しているのではないかしら。だから、母親が孤立しない支援システムや情報提供などに、ITが有効に使えたらいいですね。

**丸山** そうですね。親子密着の子や親にとって、フルタイムの女性の悩みの相談など、自分の都合のいい時間にアクセスして、情報交換、相互交流、話し合いもできるメール友達は、精神的な支えとして



丸山きよみ 香川



中村洋一さん

て大きいですよ。

**中村** 僕は、定年まで仕事も毎晩遅かったし、単身赴任もあつたりで、子どもを風呂に入れたことさえなかったですね。男はやっぱり仕事じゃないですか。でも、今は茶碗くらい流しに運びますよ。

最近の若者は人間関係に悩むと、すぐに仕事をやめたり、自分は悪くない、他人や制度が悪いと引きこもったり、職場でも円滑なコミュニケーションがなかなか取りにくい時代ですよ。世代間の学び合いも少なくなった気がしますね。そうした関係性は、温かさが感じられる直接的な対話、顔と顔を付き合わせる、そうアナログ派の僕としては、やっぱり酒でも飲むほうがいいと思ってるんだけど。

**沢田** 確かに、そうですね。でも、ネットでも濃密なコミュニケーションは可能ではないでしょうか。自分の都合で時間や距離を工夫で

きて、冷めた感覚も持てるし、人間の琴線と絆にかかわって、新しい友情や連帯の可能性という期待もあるし、現実逃避の場にもなる。

\*ネチケットをはじめ、いろいろな問題があっても、だから「やめる」ではなく、でもやりたい派です。日々小さな勇気を課して、自分に問題を引きつけて、社会と接してたいからです。

**桜木** メールは声が聞こえない分、どこまで本音が伝わるかどうか心配ですね。それに、鉄人28号じゃないけれど、ITって使い方や使う人によっては良くも悪くもなるんじゃないかな。

コミュニケーションの基本は、直接的な人間付き合い、つながりであり、ふれあいだと思います。ITは道具として、いかに活用するかということだと思っっています。

**沢田** ITによって、新しいコミュニケーションやコミュニケーションが開けたらと期待しています。そういう意味で、情報リテラシー(利用能力)やコミュニケーションの方法の点検が必要ですね。

\*DV…ドメスティック・バイオレンスの略。夫や恋人、パートナーなど、親密な関係にある男性から女性に対してふるわれる暴力のこと  
\*ネチケット…「ネットワーク」と「エチケット」を組み合わせた造語で、インターネットやパソコン通信を利用するときに最低限守るべきマナーのこと

# 「神酒の口」 作り40年

伝統技芸を受け継いで

渡辺カネ子さん



## 母親からの相伝

「神酒の口」という縁起物を知っていますか？ 竹と紙で出来た細工物で、新年に神棚のお神酒トックリの中にさすお飾りです。最近、神棚のある家は少なくなりましたが、西多摩では、毎年、「神酒の口」を飾り、1年の無病息災を祈願する家が、まだまだ残っているといえます。

そして、あきる野市にも、その「神酒の口」を作り続けている人がいます。雨間在住の渡辺カネ子さんです。20世紀もあとわずかになった12月下旬、「今が一番忙しくてね。」とおっしゃるカネ子さんを訪ね、その技を見せていただきました。

カネ子さんの実家は日の出町。50年以上続けていた母親から、「神酒の口」の作り方を習ったそうです。もともと物を作ることが大好きだったカネ子さんは、小学校3年生頃から、母親のそばで手伝うようになりました。「初めは難しかったですね。でも、毎年作るうちに、だんだんおもしろくなってね。」と当時を振り返ります。

「神酒の口」作りは、もともと女性の仕事だったそうで、その技は、母親から娘へと受け継がれ、今も守り続けられているのです。

## 熟練した技

「材料の真竹は、堅すぎても柔らかすぎてもダメ。3年位たったものが一番です。そして、夏の竹

で作ったものは、虫が出ることも多いので、寒い時期に切ったものを使っています。」

竹を節ごとに切る。  
竹の皮をそぐ。

それを1.5cm位の幅に切る。

その竹の上の方を、ナイフで細かく均等に裂いていく。



カネ子さんの手の中で、竹がみるうちに裂かれていきます。そして、しなやかに丸められ、束ねられ、いろいろな形に変わっていきます。「日本髪を結っているようで、おめでたいでしょ」とカネ子さん。赤や金の紙を飾りつけて、男福のり、女福のり、宝船、おモトなど10種類以上の「神酒の口」が、たった1片の竹から生まれます。

## いつまでも続けたい

竹を均等に裂けるようになるだけでも、2〜3年はかかると思います。今までに、「教えてほしい」という人もいましたが、一人前になるまでに5年はかかり、みんな続かなくてやめてしまったそうです。

「手が痛くなったりもしますよ。1000対以上、数にして2000以上作りますからね。でも、自分の作ったものがいろいろな所で神様に飾ってもらえると思うと、それは、嬉しくてね。張り合いがあります。」と話すカネ子さんの手は、休むことなく動き続けていました。

各家の神棚に「神酒の口」が飾られ、もうすぐ新しい春を迎えます。



### ジェンダーチェックの答え

- ・ポタン付け等自分の身の回りのことは自分でしましょう。
- ・ゴミ出し…生活者として男性（夫）もしなきゃね。
- ・トイレトペーパーの値段知らない男性多いかも???
- ・女の子だから家事を手伝いなさいっておかしくない?
- ・自分の夕飯は作らなくていいなんて…これって理解ある夫?



主婦、明子さんは、先週からひいていた風邪をこじらせついにダウン、さてその時良夫さんは…。ジェンダーを探してみてください。(答えはP6)



街角スポット 6

強くたくましく…

「白山桜」と「芋の芋」

光厳寺(戸倉)

戸倉城山の東腹にある、臨済宗建長寺派の禅寺光厳寺の白山桜は、都の天然記念物に指定されており、4月、赤褐色の若葉とともにその花を咲かせます。この大木のそばに立ち、遠く福生・立川を望む…何とも爽快ではありませんか。

そして、寺の境内の一隅に建てられている「ところ芋の碑」

江戸の三大飢饉である天保飢饉の時、光厳寺周辺の山野草や木の実などを求めて、他の村人が押し寄せ、我先にと競って採集したそうです。「他の者の勝手にさせて良いのか」という村人の訴えに、名主は「飢えているのは自分の村だけではなく、みんな同じだ」と、山野草や「ところ芋」を分け与えたとのこと。碑は、その心優しい名主の徳をたたえたものです。

この「ところ芋」は、山芋が根



参考「郷土史探流」

を深く下に伸ばすのと違って、横に根を張り、根絶やしにならない植物だったようです。春に収穫したものは苦味が少なく、焼いたり茹でたりして食べたそうですが、苦味の強いものは、さらしてアクを抜き、上澄み液と粉に分け、その粉の部分は葛のようにも活用したようです。このように、食糧難を乗り越えるための、当時の女性たちの知恵と工夫が伺われます。

江戸時代から、強くたくましく生きる多くの人たちを見守りつづけた山桜。これからもずっと私たちを力づけてくれることでしょう。



本



◆家族のリストラクチュアリング ~21世紀の夫婦・家族はどう生き残るか~

山田昌弘 著  
新曜社

民法改正、少子化、未婚化、高齢者介護、パラサイト・シングルなど、日本の家族に生じている問題を取り上げ、どのような方向にリストラされるべきなのか、どのような対策が必要なのか、その手がかりがつかめる一冊です。



◆そして燦く

吉永みち子 著  
廣瀬久起 写真  
日経ホーム出版社

音楽、スポーツ、芸術など、各分野で活躍する14人の女性たちの真摯な生き方や、揺れながらも自分を求め続けた心の軌跡を、写真と文章で紹介。今の自分が本当にしたいことは何なのか、何ができるのか?彼女たちの姿から、素敵に生きる知恵とエネルギーが伝わってきます。

※この本は、市内図書館で借られます。

ライフフォーラム2000  
共に立ち上げ

サバイバル超少子高齢化時代



「女と男のライフフォーラム in あきる野2000」が、12月2日（土）ふれあいセンターで開催されました。

第1部は、フォーラム実行委員による市民劇「わがババ倒れた、さあどうする!？」は、家族それぞれの自立を考えさせる20分余の寸劇でした。50代主婦に頼りきりの義母に夫そして息子、やがて義母の車椅子生活の中、遠方の老親の突然の入院。どこの家庭にでも起こりうる問題提起としてのこの寸劇を、介護という重いテーマにもかかわらず、あきる野ことばを交えながら、明るくユーモラスに熱演。さて、これからどうなるんだ

ろう? と思っ見ていたところ、それが課題らしく、結論は出されずに幕は閉じられました。

第2部は、ノンフィクション作家の門野晴子さんによる基調講演。寸劇での夫と息子の自立のなさに怒り爆発! 男女共同参画社会基本法が制定されても、まだまだ性別役割分担意識が払拭されていない家庭での現状に、疑問を投げかけました。

また、親の介護経験を通して、行政や福祉施設との激戦談を交え、日本の介護保険制度の現状と福祉施策の遅れを指摘。そして、北欧・欧米と日本とのボランティアに対する認識の違いなどを力説。「共に立ち上げられないければ、何も変わっていかない、21世紀は女の時代」とパワー全開な門野さんでした。



あきる野市女性情報誌は、市役所・公民館・図書館・生涯学習センター・ファインプラザなど、公共施設等に置いてあります。

編集後記

- ◆コミュニケートは生身に限り! 私はそう思います。 桜木 雪
- ◆「女たちは根腐れて」斎藤茂の強烈な言葉だ。情報リテラシー能力開発し根腐れと決別を。 沢田美佐子
- ◆「歌って踊って、言いたいこと言って、お前はいいなあ〜」と夫。私じゃ忙しいのよ! 角野春美
- ◆f・waveが誕生して3年。3才のお祝いに女性センターがほしいな。 中山佳代子
- ◆亭主関白を装いながら、実はかかあ天下というのが私の理想の夫婦像。 藤村美映
- ◆自分の頃と今の成人式、コミュニケーションとIT革命。いろいろ考えさせられました。 丸山きよみ
- ◆ユキ・ゆき・雪。 うまくなりましたよ、雪かき。 三重野由美子
- ◆振袖を 懐かしいわと見つめつつ 私はしばし カメラマン。 水口倫子

表紙/しまだ・しほ

この情報誌に関するご意見・ご感想、また、誌面で取り上げてほしいテーマなどを下記までお寄せ下さい。

Information

各種講座のご案内

ライフステージセミナー

『女と男・素敵な関係』

～山下さんちの物語「男女共同参画社会編」～

- 講師 宝井琴桜さん（講談師）
- 平成13年3月20日（火・祝）
- 午後2時～4時
- あきる野ルピア（ホール）

ワーキングセミナー（全2回）

『女性のための就職支援講座』～探してみよう、自分らしい働き方～

- 平成13年3月26日（月）午前10時～正午
- 講師 田子みどりさん（株式会社コスモピア代表取締役）
- 平成13年3月27日（火）午前10時～正午
- 講師 田村真理子さん（日本ベンチャー学会事務局長）
- あきる野ルピア

男女共生セミナー

●『素敵にパートナーシップ』～性一やさしく人間らしく～

- 講師 村瀬幸浩さん
- （“人間と性”教育研究協議会代表幹事、一橋大学・津田塾大学講師）
- 平成13年3月31日（土）午後2時～4時
- あきる野ルピア

※全講座保育室付（要予約） 申し込み・問い合わせは女性係3015へ



エフ・ウェイブ  
第6号 2001年3月発行

発行/あきる野市教育委員会社会教育部社会教育課  
〒197-0814 あきる野市二宮350  
Tel 042-558-1111（内線3015） Fax 042-550-3451  
E-mail : josei@city.akiruno.tokyo.jp  
企画・編集/あきる野市女性情報誌編集委員会



古紙配合率100%再生紙を使用しています